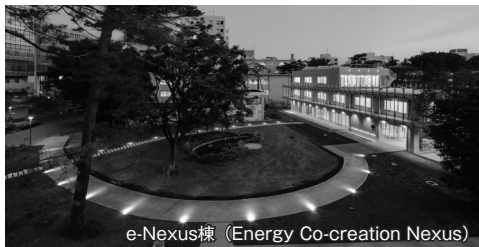
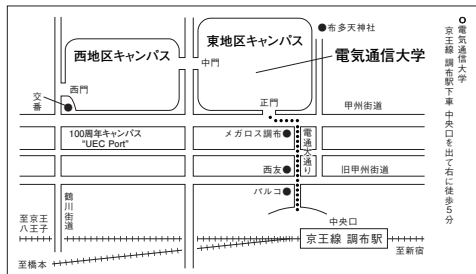


電気通信大学

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 アドミッションセンター TEL 042-443-5104

沿革

1918(大正7)年、社団法人電気協会管理無線電信講習所創設。その後通信省に移管し、1945(昭和20)年に中央無線電信講習所と改称。1949(同24)年、電気通信大学を設置。2016(平成28)年、情報理工学部を情報理工学域に改組。



学び、2年次後半からは15の「専門教育プログラム」への配属を通して専門性を高めていきます。各専門教育プログラムでは、大学院博士前期課程(修士課程)との一貫性に配慮したカリキュラムを編成し、大学院へのスムーズな接続を可能にしています。

CAMPUS情報

都心から約15分という非常に便利な場所にありながら、学内は武蔵野の面影を残す緑が濃く、静寂で勉学研究に最適な環境です。雰囲気は自由で明るく、学生は伸び伸びと勉学や課外活動に打ち込んでいます。

●学科組織

情報理工学域	I類(情報系) 255	メディア情報学プログラム 経営・社会情報学プログラム 情報数理工学プログラム コンピュータサイエンスプログラム データ思考・データサイエンスプログラム
	II類(融合系) 235	セキュリティ情報学プログラム 情報通信工学プログラム 電子情報学プログラム 計測・制御システムプログラム 先端ロボティクスプログラム
	III類(理工系) 230	機械システムプログラム 電子工学プログラム 光工学プログラム 物理工学プログラム 化学生命工学プログラム
		先端工学基礎課程(夜間主) 30

大学GUIDE

学部を持つ国立大学の中で唯一、名称に地名を含まない大学です。日本全国に開かれた大学を創ろうという精神に基づき、開学以来この名称を受け継いできました。

情報・電気・通信を中核としつつ、物理学、材料科学、生命科学、光科学、エレクトロニクス、ロボティクス、機械工学、メディアなど、理工学の基礎から応用まで、広範な分野での教育と研究を行っています。

情報理工学域では、豊かで安全な社会の継続的な発展を支える「総合コミュニケーション科学」の創出を担う人材を育成します。そのため、情報分野、理工分野はもとより、情報と理工の融合による学際分野において幅広い視野を持ち、実践的な専門知識と革新的想像力を養うことを目的に、教育体制が整備されています。

学生の興味・関心の方向性を緩やかに括った情報系・融合系・理工系の3つの「類」では、1年次において全学共通科目を中心に情報学・理工学全般の基礎を幅広く

国際交流

日常的に国外の人とふれあう機会がある「普段着の国際化」を目指しています。全学生向けに、語学留学、交換留学、国際インターンシップ、研究室交流(インターラボ)など多彩なプログラムを用意。留学生との交流をはじめ、キャンパス内でも国際環境を提供しています。

進路 卒業後の進路

多くの卒業生が大学院へ進学し、勉学と研究を深めています。一方、就職希望者に対しては「キャリア支援センター」と同窓会「目黒会」の2組織が連携して強力なサポートを行い、満足度の高い就職を実現しています。

就職実績(2020~2024年度卒業生・修了生) NTTドコモ、日立製作所、富士通、NEC、NTTデータ、KDDI、ソフトバンク、三菱電機、野村総合研究所、本田技研工業、アズビル、リコー、ソニー、キャノン、キオクシア、パナソニック、東京エレクトロン、TDK、日本IBMなど

2027入試(予定)・TOPICS

〈入試情報〉一般選抜前期日程の個別学力検査において、「情報I」が受験科目として選択可能
 ・I類(情報系)の総合型選抜、学校推薦型選抜で、CBT(Computer Based Testing)を活用
 (ランキング情報)「2025年実績就職率ランキング(卒業生数1,000人以上3,000人未満の大学)」では、国公立大学で全国第3位
 ※大学通信「大学探しランキングブック2026」

大学ガイド請求

学生募集要項・大学案内等の入手方法は、「テレメール」「モバっちよ(大学情報センター)」を利用する方法、「大学に直接請求(郵送、来学)」する方法があります。なお、一般選抜はインターネット出願のため募集要項は配布しておらず閲覧になります。入手方法の詳細は大学ホームページをご覧ください。
 (HP) <https://www.uec.ac.jp/>

国立大学